



2016年5月13日

各 位

会 社 名 ユニチカ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 注連 浩行
 (コード番号 3103 東証第一部)
 問合せ先 経営企画部 部長代理 杉澤 滋
 (TEL 06-6281-5695)

業績予想値と実績値との差異、
 営業外損失（為替差損）及び法人税等調整額の計上に関するお知らせ

当社が2016年2月5日に公表しております通期の連結業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、2016年3月期において、営業外損失（為替差損）及び法人税等調整額の計上をおこなうこととしたのであわせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想値と実績値の差異について

(1) 2016年3月期通期連結業績予想数値と実績値の差異（2015年4月1日～2016年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	145,000	11,300	8,800	5,000	円 銭 6.94
実績 (B)	146,474	10,450	6,821	6,933	10.29
増減額 (B - A)	1,474	△849	△1,978	1,933	—
増減率 (%)	1.0	△7.5	△22.5	38.7	—
(ご参考) 前期連結実績 (2015年3月期)	159,126	8,916	7,680	△27,033	△46.87

(2) 差異の理由

通期の連結業績につきましては、経常利益が為替の影響などにより予想値に比べ減少したものの、当初の見込みよりも税金費用が減少したため、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想を上回ることとなりました。

2. 営業外損失（為替差損）の計上について

2016年3月期におきまして、急激な為替相場の変動により、連結決算で1,148百万円、個別決算で955百万円の為替差損を計上いたします。

3. 法人税等調整額の計上について

今後の業績動向等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産の追加計上をおこなうこと、また、平成28年度税制改正に伴う法人実効税率の改定の影響により繰延税金資産及び負債の減少が発生することを主な理由として、2016年3月期第4四半期連結会計期間において、法人税等調整額を連結決算で△1,783百万円及び個別決算で△1,839百万円をそれぞれ計上いたします。

以 上